

課題になっている行動 (気になる行動)

周囲の状況に合わせた振る舞いが難しい

【空気】
(くうき)
は読めず

空気をよめないと
言われるけれど



監修・文 水野敦之 絵: 宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<p>■ 様々な状況の変化 複雑でわかりにくい社会的な状況の変化</p> <p><input type="checkbox"/> 影響を与える刺激や情報</p> <p>■ 必要な支援がない 周囲の状況などを本人がイメージできる形で予告したり、伝えたりする支援がない。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <hr/> <p>■ 行動前の状況※ 複雑な社会的な状況と変化 周囲の状況の解説がない</p>	<p>(■ 受容コミュニケーションの特性：字義通りの解釈)</p> <p>■ 表出コミュニケーションの特性：周囲の状況にあわせた発言が難しい</p> <p>■ 社会性・対人関係の特性：周囲の状況よりも見えているもの、自分のイメージを優先させてしまう。周囲の状況から自分の行動を調整することが難しい</p> <p>■ 全体よりも細部に注目する特性：周囲の状況に注目が難しい</p> <p>(■ 関係理解の困難さ：字義通りの解釈)</p>	<p><input type="checkbox"/> 習慣になっているものがある</p> <p>■ 自分流の気づき・考え方もつ周囲の状況よりも自分のイメージを優先させてしまいます。</p> <p><input type="checkbox"/> 過去に経験したこと学んだことを</p> <p><input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること</p> <hr/> <p>■ 行動後の状況・結果※ 周囲からの無理解 注意をうける</p>

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
<p>1対1で勉強を教えたり、相談したりする場面がある</p>	<p>具体的な言葉の指示は理解できる</p> <p>文章、絵、写真、図や表、フローチャートなどを理解できる</p>	<p>みんなとの違いには、少し気づいている</p>

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
<p>環境を変える部分は？</p> <p>・社会的な段階や規模を本人にあわせて調整する。</p>	<p>本人の特性にあわせた支援は？</p> <p>・社会的な状況を文章や絵、図式などを使って解説する。</p> <p>・社会的な場面の予告を行う</p> <p>・活動等の事後のフィードバックと次の機会の整理を行う。</p>	<p>本人に伝える・教える部分は？</p> <p>・1対1の場面で教える</p> <p>・基本、例題、事例、応用のステップで教える。</p>

解説と支援の方向性について

自閉症の人は、様々な状況判断して相手の気持ちを想像することの困難です。そこで「空気をよめない」特性とも言われます。この「かるた」は、「空気」を読むということの解釈を字義通りの解釈しています。「【空気】という単語を読むにすることができるか？」という解釈になっています。本人にとってイメージしやすい表現で伝えることが必要になります。